

東北大学基金へのご支援のお願い

東北大学の「教育」「研究」「社会との共創」の成果を通じて、
より豊かな未来社会を皆さまと一緒に実現していくため、ぜひご理解とご支援をお願いいたします。

ご寄附の方法

右記2次元コードまたは下記URLよりお申込みいただけます。

お申込みURL <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/entry.php?fmMode=donationForm>



お申込み手順

- 1 お申込みURL・2次元コードにアクセスしてください。
- 2 申込みフォームが開きます。
- 3 寄附の種類・金額(1,000円以上)・住所、氏名等の必須事項をご入力ください。
- 4 決済方法をお選びください。



決済方法詳細	クレジットカード決済	下記のカードでのお申込みが可能です。
	コンビニ決済	申込みフォームにてお手続き完了後、お近くのコンビニでのお手続きが可能です。 【ご利用可能なコンビニエンスストア一覧】 セブンイレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ ※コンビニ決済上限金額⇒セブンイレブン:5万円未満/それ以外のコンビニエンスストア:30万円未満
	銀行振込	申込みフォームにてお手続き完了後、振込先をメールでご案内いたします。
	郵便振替	申込みフォームにてお手続き完了後、払込取扱票を送付いたします。 払込取扱票が届きましたら振込のお手続きをお願いいたします。 ※払込手数料は本学にて負担いたします。
	PayPay決済	申込フォームよりPayPayでのお支払いもお選びいただけます。
	Amazon Pay 決済	Amazonアカウントをお持ちの方は、より簡単にお手続きができます！ Amazon Pay決済詳細は右記2次元コードからご確認ください。

マイページ機能のご案内

マイページにご登録いただくと、次回以降のお申込みの際に住所・氏名等の情報のご入力が省略できます。この機会にぜひ、マイページ登録をしてみませんか？

マイページのご登録はこちら <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/mypageEntry.php>



TOHOKU UNIVERSITY FUND REPORT 2026

未来につながる
あなたの支援

東北大学基金レポート

(2025年度の活動記録)



ともに歩み、未来へつなぐ

国際卓越研究大学としての挑戦――

日頃より本学の教育・研究活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆さまからお寄せいただく尊いご厚志は、学生一人ひとりの挑戦を後押しし、研究者が未知の領域へ踏み出すための大きな力となっております。ここに改めて深甚なる感謝の意を表します。

東北大学は、国際卓越研究大学として、世界と伍する研究力のさらなる強化と、未来を切り拓く人材育成に全学を挙げて取り組んでおります。分野の枠を越えた融合研究の推進、国際性豊かな教育環境の整備、若手研究者や学生が自由闊達に挑戦できる基盤づくりを進めるとともに、社会との共創を通じて新たな価値を創出し、その成果を広く社会へ還元してまいります。

こうした歩みを着実に前へ進めることができるのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物であり、本学の挑戦を支えるかけがえのない礎でございます。

これからも、皆さまとともに歩みながら、そのご期待にお応えできる大学であり続けられるよう、誠心誠意努めてまいります。今後とも変わらぬご理解とご高配を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

東北大学総長

畠 永 悌 二

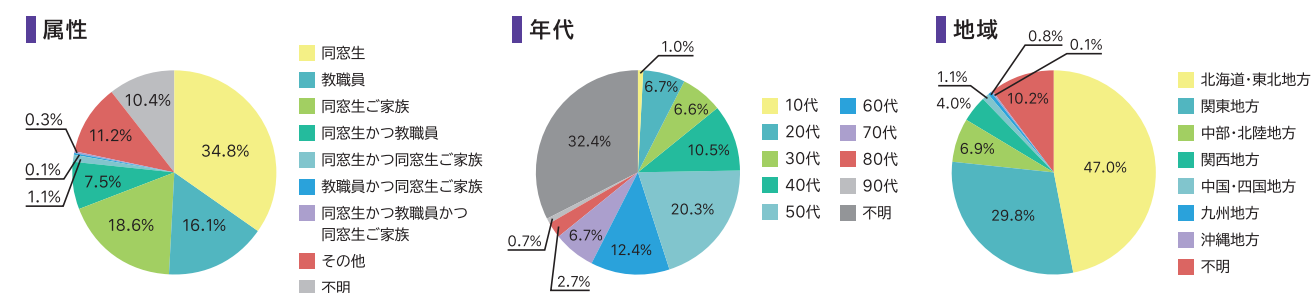
2025年度 東北大学基金へのご寄附

東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
2008年度設立当初から2025年度までの東北大学基金へのご支援累計は以下となりました。

2025年度 東北大学へのご寄附詳細

東北大学基金へのご支援累計 (2008年度創立～2025年度)		2025年度 東北大学へのご寄附詳細	
累計総額	13,192,378,300円	累計総額	3,733,226,726円
累計総件数	76,145件	累計総件数	11,083件

東北大学基金は皆さまからのご寄附により支えられています。



ご支援の思いを、確かなかたちへ――

平素より本学の諸活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。皆さまのご支援は、大学と社会を結ぶ多様な取り組みを着実に前へ進める原動力となっております。

東北大学基金では、目的に応じた多様な基金を通じて、皆さまの想いを具体的な事業へとつなげております。学部・研究科や部活動、研究分野ごとの基金設置や活動報告の充実により、寄附者の皆さまが成果を実感できる仕組みづくりに取り組んでまいりました。
今後はさらに、寄附を一過性のご支援にとどめることなく、皆さまと大学が継続的につながる「ご支援の思い」を大きなかたちへと育てまいります。

本学の歩みを身近に感じていただける機会を大切にしながら、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

東北大学 副学長(社会連携・校友会・基金担当) 今村 文彦

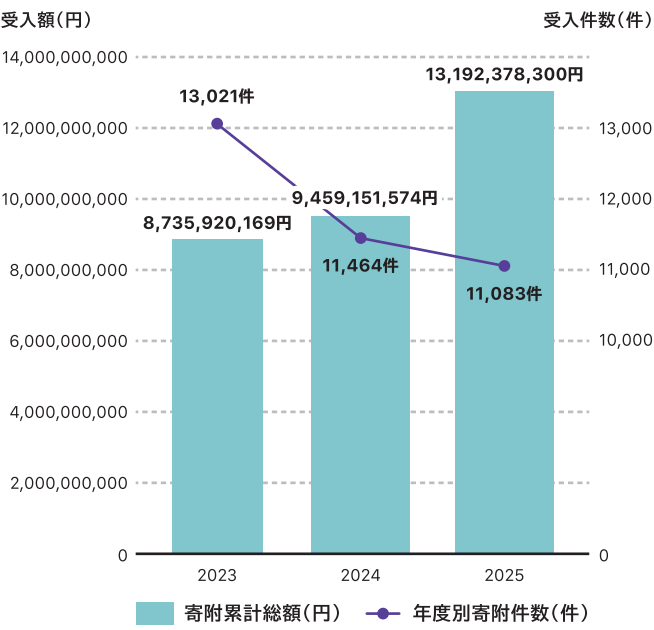


2025年度寄附受入内訳

2025年度は総額 **3,733,226,726**円をご寄附いただきました。

一般基金	一般基金	5,140件	3,387,879,939円	食による学修環境の支援	40件	13,980,000円
	サステナブル募金	85件	231,870円	ウクライナ支援募金	66件	837,000円
プロジェクト特定基金	修学支援基金	538件	44,863,000円	スタートアップ事業化支援基金	34件	3,539,000円
	博士課程支援基金	142件	2,356,000円	大内国際交流支援基金	3件	21,000円
	東北大学校友会支援基金	1,109件	1,664,000円	ANEMONE データベース支援基金	21件	4,949,000円
	東北大学学友会支援基金	615件	25,689,411円	次世代のスマート・リサーチ・コンプレックス形成基金	2件	1,001,000円
	減災教育研究助成基金	9件	521,000円	グリーンゴールズイニシアティブ基金	10件	120,000円
	知のフォーラム支援基金	9件	9,978,000円	超小型人工衛星打上げ支援基金	5件	37,000円
	DEI推進基金	44件	664,000円	東北大学MOOC支援基金	15件	226,000円
	震災復興支援基金	6件	190,000円	サステナブル・オーシャン・サイエンス基金	17件	145,000円
	青葉山新キャンパス整備基金	6件	17,000円	FUKUSHIMAサイエンスパーク基金	417件	9,661,600円
	原子力災害からの復興支援基金	33件	862,000円	SOCsセンター研究支援基金	1件	1,000,000円
	研究者育成支援基金	41件	944,000円	X-nics半導体次世代人材育成支援基金	3件	2,011,000円
	みちのく青い海生物基金(畑井メダル基金)	6件	56,000円	自然共生未来基金	6件	701,000円
部局特定基金	文学部・文学研究科	89件	5,447,300円	加齢医学研究所	7件	21,121,102円
	教育学部・教育学研究科	20件	4,151,000円	流体科学研究所	7件	119,000円
	法学部・法学研究科	69件	32,919,022円	電気通信研究所	52件	1,355,823円
	経済学・経済学研究科	208件	9,124,818円	多元物質科学研究所	40件	293,000円
	理学部・理学研究科	138件	3,789,500円	災害科学国際研究所	51件	3,569,200円
	医学部・医学系研究科	140件	20,388,777円	学際科学フロンティア研究所	25件	10,573,000円
	歯学部・歯学研究科	219件	2,951,053円	未来科学技術共同研究センター	5件	20,806,106円
	薬学部・薬学研究科	96件	859,000円	東北メディカル・メガバンク機構	54件	6,133,000円
	工学部・工学研究科	334件	12,585,293円	東北大学附属図書館	52件	705,341円
	農学部・農学研究科	77件	15,808,008円	東北大学病院	601件	11,927,333円
	国際文化研究科	3件	45,000円	学術資源研究公開センター植物園	31件	832,000円
	情報科学研究科	27件	71,000円	東北大学総合学術博物館	40件	640,000円
	生命科学研究科	33件	331,236円	国際放射光イノベーション・スマート研究センター	17件	2,038,366円
	環境科学研究科	6件	118,000円	グリーンクロステック研究センター	6件	282,000円
	医工学研究科	9件	941,000円	スマート・エイジングセンター	4件	29,000円
	金属材料研究所	158件	782,449円	東北アジア研究センター	1件	30,000円
	評価性資産特定基金	1件	24,160,179円			
	クラウドファンディング	40件	4,155,000円			
				合計	11,083件	3,733,226,726円

過去3年間の寄附受入推移



寄附者顕彰(2008年度創設～2025年度)

賞		個人数(累計)	法人・団体数(累計)
栄誉功労賞	個人:3,000万円以上 法人・団体:1億円以上	20	6
特別功労賞	個人:1,000万円以上 法人・団体:5,000万円以上	44	11
功労賞	個人:100万円以上 法人・団体:1,000万円以上	433	69
特別功績賞	個人:50万円以上 法人・団体:500万円以上	362	81
功績賞	個人:10万円以上 法人・団体:100万円以上	3,120	487

(2026年3月末時点)

報告

2025年度「東北大学基金感謝のつどい」を開催しました。

2025年12月6日(土)、日頃のご支援への謝意を表する「東北大学基金感謝のつどい」を開催しました。

2025年度の「東北大学基金感謝のつどい」は、「NanoTerasu(ナノテラス)」をはじめ最先端の研究拠点を見学する「東北大学サイトビジット」と東北大学および東北大学基金の活動を報告する「懇談会」を実施しました。

「東北大学サイトビジット」では、①NanoTerasu・災害科学国際研究所、②NanoTerasu・国際集積エレクトロニクス研究開発センター(CIES)、③病院、④附属図書館の4コースをご用意しました。計180名の方にご参加いただき、普段見ることのできないバックヤード等をご案内しました。

また、サイトビジット後、青葉山コモンズ(青葉山新キャンパス)で開催された「懇談会」では、109名の方にご出席いただき、2024年度に功労賞以上を受賞された寄附者の皆さまのご紹介に加え、冨永総長から国際卓越研究大学としての今後の展望等についての講演、今村文彦副学長(社会連携・校友会・基金担当)による東北大学基金2024年度の基金の収支や主な取り組みについての報告を行いました。

また、会終盤では学生支援の報告として、留学生と国内学生の国際共修企画「旅するジェラート」プロジェクト、鳥人間コンテスト出場の学友会人力飛行部(Windnauts)、学生チャレンジクラウドファンディング「ともに・プログラム」の各代表学生からご支援に対する感謝をお伝えするとともに、活動成果の発表を行いました。

懇談会は、総長や理事などの役員と寄附者の皆さまが終始和やかな雰囲気でお話されました。



懇談会の様子



東北大学サイトビジットの病院コースにて説明の様子

2025年度Topics

2025年 5月

- 「100円朝食」提供サービスを実施(5/7-5/30) [▶P13](#)

2025年 7月

- 「SOCsセンター研究支援基金」を設置(7/10)
- 寄附付き商品「東北大学×希望の丘醸造所(株式会社利久) コラボビール第3弾『Kawatabi Cold IPA』を発売(7/27～)
- 「グローバル萩博士課程奨学金(前期分)」を給付 [▶P9](#)
- 基金運営委員会を開催(7/23)
- 寄附付き商品「旅するジェラート」第2弾を発売(7/30・31先行、8/1～一般販売)

国際共修プロジェクト「旅するジェラート2025」

東北大学の留学生を中心とした学生たちと地元企業との協働企画「東北大学 地域・社会共創『学生×じもと』プロジェクト」の一環として実施している「旅するジェラート」。

2025年度は「世界のフュージョン(fusion)」をテーマに、学生の出身国で食されている食材を組み合わせる世界の国々の融合を表現しました。なお、売上の一部はご寄附として東北大学の国際交流事業や留学生支援事業に活用されています。



2025年 11月

- 「学生応援TANAKAの頭脳ドーナッツ」の提供を実施(11/17-12/8) [▶P13](#)
- 「学生応援ディナーTANAKAの夜」にて300円夕食提供を実施(11/11) [▶P13](#)

2025年 12月

- 2025年度東北大学基金「感謝のつどい」を開催(12/6) [▶P4](#)
- グローバル萩海外留学奨励賞授与式を開催(12/16) [▶P10](#)

2026年 3月

- 「東北アジア研究センター 東北アジア地域平和基金」を設置(3/1)
- 2025年度学友会表彰・課外活動奨励賞・企画事業等助成費等の対象団体、個人を選出 [▶P11](#)

2025年 6月

- 「学生応援TANAKAの頭脳ドーナッツ」の提供を実施(6/9-6/27) [▶P13](#)
- 「学生応援ディナーTANAKAの夜」にて300円夕食提供を実施(6/26・27、7/8・9) [▶P13](#)

2025年 8月

- 「東北大学自然共生未来基金」を設置(8/28)
- グローバル萩海外留学奨励賞授与式を開催(8/6) [▶P10](#)

2025年 9月

- 寄附付き商品「東北大学×BLUE GIANT crafted with GREAT DANE BREWING『WISCONSIN PILSNER EXCLUSIVE EDITION』」を発売(9/13・14先行、10/11～一般販売)



2025年 10月

- 「東北大学 元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)」を給付 [▶P9](#)
- 「X-nics半導体次世代人材育成支援基金」を設置(10/1)
- 東北大学応援月間2025を開催(10/1-11/30)
- 東北大学学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ!2025」を実施(10/1-11/30) [▶P12](#)
- 「100円朝食」提供サービスを実施(10/14-11/10) [▶P13](#)
- 東北大学 学生支援チャリティーイベント「Tohoku University Giving Campaign 2025」を開催(10/10-10/19)

2026年 1・2月

- 「グローバル萩博士課程奨学金(後期分)」を給付 [▶P9](#)
- 東北大学学生活動広報誌「カバターン」第4号発行(2/6)
- 「Giving Campaign 2025 感謝の会」を開催(2/23)



東北大学全体のTopics

5/24 東北大学懇談会を開催しました

2025年5月24日に「東北大学懇談会」を開催。2025年度も大学全体の取り組みのご紹介(午前の部)とその後に学部・研究科ごとに分かれてのプログラム(午後の部)の2部構成で実施し、対面・オンラインと合わせて1,000名を超える皆さまにお申込みいただきました。

午前の部と午後の部の合間には「昼食懇談会」を開催し、総長・役員および部局長や各学部の教員が出席し、学生に人気の学食メニューによる特製弁当や留学生考案のオリジナルジェラートを楽しみながら、親睦を深めました。



昼食懇談会での様子

10/11・12 「東北大学118周年ホームカミングデー」を開催しました

仙台の地から「世界に伍する大学」へと一歩踏み出した東北大学。そんな本学が、ふるさととして校友の皆さまをお迎えする、年に一度の「ホームカミングデー」。今年は「仙台から世界へ」をテーマに、1日目の11日はジャズを題材とした漫画『BLUE GIANT』(小学館)の作者・石塚真一氏、ストーリー監修のNUMBER8氏を迎えての総長との対談や、本学卒業生で仙台管区気象台長・鎌谷紀子氏の講演など、さまざまな特別ステージ企画で皆さまをお迎えしました。また、2日目、12日には「国際祭り」を開催。東北大学留学生会「TUFSA」が主体となり、各国の文化を伝えました。



「BLUE GIANT」トークセッションの様子

◆◆ スペシャルレポート ◆◆

Special Report

遺贈 ～未来につなぐあなたの思い～



いま、「遺贈」という選択をされる方が増えています。

人生をかけて築いてこられた大切な財産を、
未来を担う教育・研究のために役立てたい
社会への恩返しをかたちにしたい
次世代に希望を託したい



その想いを確実に未来へつなぐための方法の一つが、**遺贈寄附**です。

遺贈とは・・・

遺言によってご自身の財産の一部またはすべてを、無償で特定の個人や団体へ譲ること。
相続人だけでなく、大学や病院、自治体、NPO法人なども自由に指定することができます。
近年、東北大学も遺贈先としてご選択いただく機会が増えてきました。
それは、単なる寄附ではなく、「**志**」を**未来に託す行為**として東北大学が選ばれている証でもあります。

東北大学が遺贈先として選ばれる理由

東北大学は創立以来、「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念のもと、多くの人材と研究成果を社会に送り出してきました。大切に築かれたご資産を、特定の学部や研究など、寄附者様の思いに沿った活用先で確かな社会的価値へとつなぎ、未来へ継承することが可能です。ご自身やご家族のお名前を銘板の形で残すこともできます。

安心してご相談いただくために 遺贈寄附サポートセンター

東北大学では、遺贈寄附専門窓口として「遺贈寄附サポートセンター」を設置しています。ご本人様はもちろん、ご家族からのご相談にも丁寧に対応し、遺言書作成から資産の受け入れまで、専門家と連携しながら伴走いたします。

主なサポート内容

1. 遺言書作成に関するご相談
2. 相続税の非課税措置に関するご説明
3. 不動産・有価証券・株式・地金・暗号資産など
多様な資産の受入相談※1
4. ご家族・ご遺族からのご相談対応
5. 銀行との連携※2

東北大学での
遺贈および相続財産からの
ご寄附受入実績

29件

- ※1 現金に限らず、多様な資産の受け入れ体制を整えていることも東北大学の大きな特徴です。
※2 東北大学では様々な銀行と遺贈に関する連携協定を結んでいます。詳細は遺贈寄附サポートセンターまでご相談ください。

遺言によるご寄附の流れ

ご相談

まずは専門窓口へ
お気軽にご相談ください。

ご希望内容の整理

ご寄附の目的やご意思を
丁寧にお伺いします。

遺言書作成

公正証書遺言の作成を
サポートします。

遺言執行

遺言執行者により
財産整理が行われます。

遺贈実行

遺言に基づき大学へ
遺贈されます。

想いの実現

教育・研究・環境整備等に
大切に活用されます。

遺贈による取り組み事例

冠奨学金の設置

東北大学では、ご遺贈者様のご意向に沿って、お名前を冠した奨学基金の設置も実施しております。基金として名前を残し、奨学金を通して次世代に想いを繋いでいます。



大内記念奨励賞授与式の様子

冠奨学金の一例 大内記念奨励賞

大内秀明東北大学名誉教授のご寄附を受けて2022年に創設された「大内国際交流支援基金」。本学における学生の国際交流支援等による学生支援事業の推進を目的とした東北大学内の奨学制度です。

遺贈体験者の声 「研究の道を歩む方へ、確実に届けたい」



研究者として長年教壇に立ち、生涯を学問に捧げた夫の遺志に基づき、このたび寄附をいたしました。
夫は一度社会に出た後、「もっと学びたい」という想いを胸に大学院へと進み、研究者の道に入りました。当時は恩師や周囲の支え、そして奨学金という助けがあったからこそ、研究に没頭する充実した日々を過ごすことができた、生前、感謝の念を口にしておりました。
長年研究の現場に身を置いてきた夫が、晩年、案じていたのは若手研究者たちが置かれている厳しい現状でした。「自分の時代は、一生懸命に取り組んで成果を出せば、どこかに就職できると確信が持てた。しかし、今の時代の研究者たちは非常に苦労しているのではないか」——その言葉には、未来を担う後進たちを慈しみ、その将来を憂う、研究者としての想いが込められていました。
私は、その想いを未来へつなぐべく、夫の遺志を尊重し、遺贈という形で寄附を実行いたしました。研究という険しくも尊い道を選んだ方々に、夫の願いが届き、これからの研究の発展を支える一助となることを心より願っております。

ご遺贈事例 ご遺贈が生んだ、新たな未来 一星の子保育園

第21代東北大学総長・第42代東北大学病院長の里見進氏と深い親交のあった故吉村しげを様より、ご自身が長らく過ごされた地を東北大学基金にご遺贈いただき、星の子保育園として整備が実現。
2018年4月開園へと至りました。
前身となる事業所内保育所は定員が26名と少なく、育休の取得数に対して受け入れが追いつかないという課題がありましたが、この保育園開園により、復職・育児支援が拡充され、今まで以上に教職員が医療や教育・研究に専念できるようになりました。



●所在地: 仙台市青葉区 ●定員: 120名 ●鉄骨造2階建て/926㎡ 園庭240㎡ ●開園: 2018年4月

ご遺贈は、このように目に見えるかたちで
未来の環境をつくり出しています。

あなたの想いを、未来へ

遺贈は、人生の集大成としての寄附です。
東北大学は、その大切なご意思に寄り添い、
確実に未来へつないでまいります。

まずはご相談からでも構いません。
どうぞお気軽にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせ

東北大学 遺贈寄附サポートセンター

フリーダイヤル: 0120-279-514
[受付時間: 平日9:00~17:00(12:00~13:00除く)]

E-mail: kikin@grp.tohoku.ac.jp
W E B: <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/bequest>



学生の修学・課外活動支援

東北大学では意欲と能力のある学生が経済的な理由で修学や研究を断念することがないように、皆さまからのご寄附による返済不要の給付型奨学金制度を設け、経済的支援を実施しています。
また、学生の課外活動においても、皆さまからのご寄附を活動資金として授与しています。

■ 東北大学 元気・前向き奨学生

経済的な理由で修学が困難な学部学生に対し、月額3万円を支給する給付型奨学金制度です。学生の経済的な不安を取り除き、安心して修学に専念できる環境を整備するもので、修学支援基金に寄せられたご寄附により、2017年度から実施しています。

2025年度支援数	50名
支援内容	月額3万円の給付(年額36万円)
対象学生	本学に在籍する学部学生で、経済的支援を要する学業成績優秀者

「東北大学 元気・前向き奨学生」による奨学生からの感謝の言葉

長井 颯馬さん(工学部2年)

※2025年度時の学年にて表記



ハードル走中の長井さん

このたびは、多大なるご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。奨学生として採用していただいたことは、私にとってこの上ない喜びであり、身の引き締まる思いです。頂戴いたしました奨学金は、学費や日々の学習に必要な専門書の購入などに、大切に活用させていただきます。経済的な不安を抱えることなく、勉学や研究に没頭できる環境を与えてくださったことに、深く感謝いたしております。私は現在、材料工学を専攻し、次世代の産業や社会基盤を支える金属材料の研究に強い関心を

持って取り組んでいます。新素材の開発や既存材料の機能向上は、環境問題の解決や人々の生活を根本から豊かにする力を持っていると確信しています。将来は研究者として、持続可能な社会の実現に貢献できるような新しい技術を生み出せるよう、専門知識の習得と実験・研究に全力で取り組んでまいります。皆様からの温かいご支援とご期待に応えられるよう、ご恩を忘れることなく、日々学業に邁進していく所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

■ グローバル萩博士学生奨学金

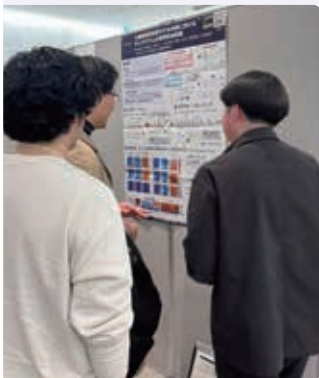
意欲と能力に溢れる優秀な学生が、本学の博士課程に進学し学術研究に専念できる環境を提供するとともに、日本の科学技術の発展に資する「創造と変革を先導する人材」の育成を目的として2018年度から実施。年額60万円を給付奨学金として支給しています。

2025年度支援数	東北大学基金からは50名を支援
支援内容	年額60万円を2回に分けて給付
対象学生	本学の大学院正規学生として在籍する者で学業成績が優秀であるなどの要件を満たす者

「グローバル萩博士学生奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

吉田 遥音さん(情報科学研究科 システム情報科学専攻 博士前期課程2年)

※2025年度時の学年にて表記



一番右が吉田さん

このたびは、温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまからのご厚意により、経済的な不安を軽減しながら研究活動に専念できる環境をいただいておりますことを、深く感謝しております。私は現在、大規模視覚言語モデルの内部表現の理解に関する研究に取り組んでおり、モデルがどのように視覚情報や構造的な情報を内部で表現・利用しているのかを分析しています。これにより、AIの判断過程をより解釈可能な形で理解することを目指しています。本年度は、研究成果として主著・共著を含め2件の論文が査読付き国際会議に採択され、さらに3件の論文が国内会議に採択されました。また、主著論文が国内会議において優秀賞を受賞したほか、研究活動が評価され学内に研究科長賞を受賞いたしました。これらの成果は、皆さまからのご支援により研究に専念できた結果であると感じております。今後も研究活動に真摯に取り組み、得られた成果を通して社会や学術の発展に貢献できるよう努めてまいります。改めまして、皆さまの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

文が査読付き国際会議に採択され、さらに3件の論文が国内会議に採択されました。また、主著論文が国内会議において優秀賞を受賞したほか、研究活動が評価され学内に研究科長賞を受賞いたしました。これらの成果は、皆さまからのご支援により研究に専念できた結果であると感じております。今後も研究活動に真摯に取り組み、得られた成果を通して社会や学術の発展に貢献できるよう努めてまいります。改めまして、皆さまの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

■ グローバル人材の育成

東北大学では幅広い分野でグローバルに活躍する人材を育成するため、東北大学独自の留学奨学金制度を設けています。

2025年度の海外留学における主な実績

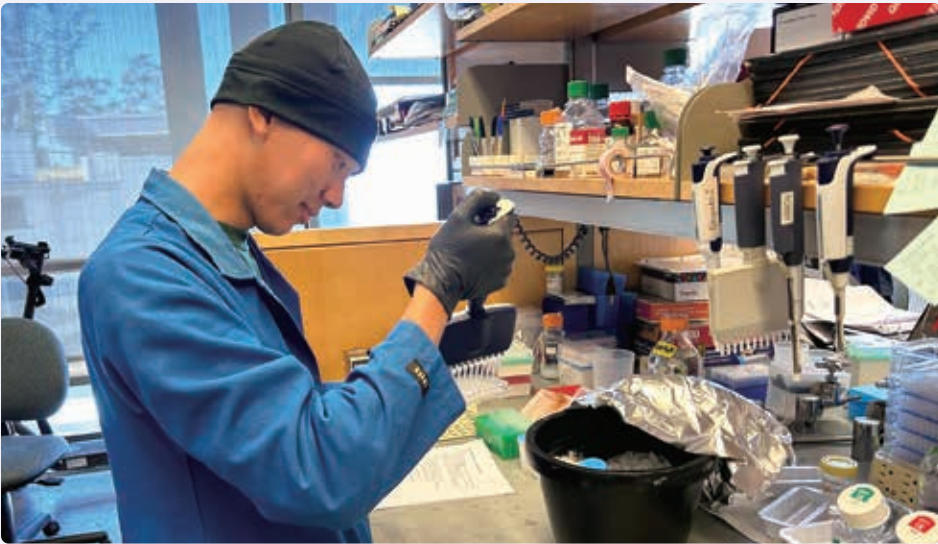
グローバル萩海外留学奨励賞	41名
短期海外研修(SAP/FL)	248名(SAP:129名/FL:119名)
海外体験プログラム・ショートプログラム	49名
入学前研修	52名
COLABS	8名
その他	各学部・研究科での海外派遣プログラムなどから多数の学生が留学

うち
東北大学基金
からの支援
134名

「グローバル萩海外留学奨励賞」受賞者からの感謝の言葉

近藤 紘輝さん | 留 学 先:カリフォルニア大学サンフランシスコ校(アメリカ合衆国)
(医学部医学科3年) | 留学期間:2025年9月1日~2025年12月12日

※2025年度時の学年にて表記



普段の実験の様子

「医学研究者になる」という目標を胸に東北大学医学部医学科へ入学。自己免疫疾患である円形脱毛症を経験したことから、皮膚科学と免疫学の研究に関心を持ち、同じ悩みを抱える人の助けになりたいと考えてきました。1年次末から皮膚科学分野の研究室に所属し、マウスやヒト検体を用いた研究を通して、実験計画の立て方や試料の扱い、データ整理の基礎を学びました。さらに世界最先端の環境で学びたいとの思いから、2025年9月から担当教授のご尽力により、カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)で4か月間の研究留学の機会を得ました。現地では、皮膚に存在する制御性T細胞に着目し、免疫の均衡が健康をどのように支え、自己免疫疾患でどのように崩れるのかを研究しました。また、複数ラボによる合同ミーティングでは、立場を超えた活発な議論に触れ、仮説を磨く思考力を鍛えられました。

研究室の日常でも、交流を大切にする文化やオンオフの切り替えを体感し、研究に集中し続けるための環境づくりの重要性を学びました。留学を通して、実験技術に加え、データの解釈や議論の組み立て方、専門的な英語での発信力も向上しました。今後も挑戦を重ね、研究成果を社会へ還元できる医学研究者を目指していきたいと考えています。今回の貴重な経験は東北大学基金にご寄附いただいた皆さまのご支援によって支えられています。資金面の不安を抑え、学びと研究に集中できる環境に深く感謝申し上げます。留学で得た視点と技術を糧に、将来は国際的な医学研究と医療の発展に貢献できる人材となるべく、引き続き研鑽してまいります。ありがとうございました。

課外活動奨励賞の授与・企画事業等の助成

2025年度も様々な学友会所属団体が積極的に活動を行いました。東北大学基金では、学生の課外活動を支援するため、課外活動奨励賞および企画事業等の助成を実施しています。

課外活動奨励賞(1団体あたり5万円)
●文化部正規団体(3団体)：放送研究部、落語研究部、将棋部
●文化部準加盟団体(8団体)：かるた会、コンタクトブリッジクラブ、New Forest Jazz Orchestra、工学部自主ゼミナール協議会、FROM THE EARTH、陸前高田応援サークルぽかぽか、SCRUM、インクストーンズ
●文化部登録団体(3団体)：宇宙エレベーターチャレンジトーホク、創作和太鼓集団 鼓箔、SCC(Student Community College)
●体育部正規団体(5団体)：陸上競技部、ラグビー部、女子ラクロス部、ボディビル部、アメリカンフットボール部
●体育部準加盟団体(1団体)：無人航空技術研究会

企画事業等への助成(1団体あたり10万円上限)
●文化部正規団体(1団体)：吹奏楽部 ●体育部正規団体(1団体)：応援団 ●文化部登録団体(1団体)：宇宙エレベーターチャレンジトーホク

学友会会長賞(助成額15万円)
●交響楽部 増井 健人(工学部4年)
●硬式野球部 佐藤 昂(経済学部4年)
文化・体育活動を通じて学友会の振興と発展に貢献した当該年度の卒業生を表彰

文化部三賞(助成額10万円)
石田杯 ●混声合唱部 ●落語研究部
学友会文化部が主催し、東北大学における学生の文化活動の向上と学風の振興を目的として、文化部所属団体に授与される団体賞
海野賞 ●男声合唱部
学生文化活動の向上と学風の振興を目的とし、良好な成績、あるいは本学及び地域社会への優れた貢献のあった団体を表彰する団体賞
末光賞 ●アマチュア無線部 本堂 宏紀(工学部3年)
昨年1年間で優秀な成績を収めたもしくは各種イベント、演奏会等の企画・実施を中心に担った学生に授与される個人賞

体育部五賞(助成額10万円)
黒川杯 ●陸上競技部 ●フットサル部
昨年1年間で最も優秀な成績をおさめた団体に授与される団体賞
志村杯 ●相撲部
昨年1年間で行事内容の充実した団体に授与される団体賞
鈴木賞 ●フェンシング部 高橋 葵(工学部2年)
●女子ラクロス部 野村 春花(理学部2年)
これからの活躍が期待される成績優秀な2年生に授与される個人賞
大谷賞 ●スキー部 ●乗馬部 ●水泳部 ●剣道部
●陸上競技部 ●弓道部 ●フェンシング部 ●水球部
全国七大学総合体育大会において、優勝した部に授与される団体賞
永富賞 ●スキー部 渡邊 梓(文学部4年)
●準硬式野球部 白村 崇(理学部4年)
●人力飛行部 左高 匡信(文学部4年)
主務(マネージャー)、トレーナー等の選手以外のサポートスタッフとして、特に優れた貢献のあった当該年度の卒業生に授与される個人賞

「課外活動奨励賞」受賞団体からの感謝の言葉
工学部自主ゼミナール協議会

東北大学工学部自主ゼミナール(T-semi)は1966年に設立され、NHK学生ロボコンをはじめとするロボットコンテストへの挑戦や個人でのロボット製作に取り組んできました。長年、本戦前の厳しい審査を突破できない状況が続いていましたが、2024年に16年ぶりに本戦出場を果たし、決勝トーナメント進出とデザイン賞を受賞。さらに2025年も本戦に出場し、2年連続で決勝トーナメントに進出、東京エレクトロン様より特別賞もいただきました。

部員数が少なく、経験やノウハウも限られる中で、チームは限られた時間と資材を最大限に活用する工夫を重ねました。特に2025年はロボット2台を同一設計とすることで開発工程を効率化し、機構の単純化を徹底。ポリ袋を膨らませてディフェンスする独創的な仕組みが高く評価されました。初心者も多い環境ながら、全員の努力が実を結び、近年で特に良好な成果を収めることができました。これらの成果は、皆さまからのご支援の賜物です。ご寄附は部品や



NHK学生ロボコン出場時の様子

工具の購入、試作・改良の費用として大切に活用しています。T-semiはこれからも、ロボット製作を通して技術力を磨くとともに、仲間と協力して挑戦する経験を重ね、NHK学生ロボコン本戦でのさらなる活躍を目指して活動を続けてまいります。

ともプロ! 2025 ～学生チャレンジクラウドファンディング～

本学が社会と一体となって学生の挑戦を応援する未来共創型クラウドファンディング「とも・プログラム(通称ともプロ!)」を2025年も実施いたしました。

2025年は8件のプロジェクトが採択され、うち5件のプロジェクトが目標金額50万円を達成しました。

概要	●クラウドファンディング実施期間 2025/10/1(水)～11/30(日)
	●実施スケジュール 申請(6月)≫≫ 審査&採択(7月)≫≫ クラウドファンディング(10月～11月)≫≫ プロジェクト実施

ともプロ! 2025全体の実績 寄附件数: 571件 寄附総額: 7,210,500円

No. 1

月面でキノコを育てたい！
菌類の力で宇宙と地球の未来を拓く



MushMoon

寄附件数: 29件
寄附総額: 411,100円
達成率: 82%

No. 2

『薬が届かない』を数理で解決！
パルー山岳地域の命を守る最適化技術



Qube+

寄附件数: 67件
寄附総額: 574,000円
達成率: 108%

No. 3

紫紺のエールを広げたい。
未来へつなぐ応援団の挑戦



東北大学学友会応援団

寄附件数: 149件
寄附総額: 1,630,000円
達成率: 326%

No. 4

障がい児のケアを補助するAIで、
子どもたちと福祉に関わる人を幸せに！



自動化研究会

寄附件数: 58件
寄附総額: 638,000円
達成率: 127%

No. 5

誰もが"信頼できる医師"に出会い、
最適な医療を受けられる社会へ！



マチドク

寄附件数: 67件
寄附総額: 1,063,000円
達成率: 213%

No. 6

新入生の8割が使うアプリから、
東北大生の未来をもっと面白くしたい！



とんベディア

寄附件数: 55件
寄附総額: 581,100円
達成率: 126%

No. 7

スマホとBluetoothで
電波がなくても“つながる”安心を！



防災テックチーム

寄附件数: 36件
寄附総額: 365,300円
達成率: 67%

No. 8

「あれ、何だっけ？」がなくなる家。
行動予測サポーター「ミマモリ」



トンベー3dp

寄附件数: 21件
寄附総額: 385,000円
達成率: 67%

ともプロ! 2025の詳細については右記WEB特設ページURLおよび二次元バーコードからご確認いただけます。

WEB特設ページ(<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tomopro/2025>) ▶



学生の心とお腹を満たす「東北大学の食の支援」

東北大学では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学生生活や修学環境が変化し経済的に困窮した学生を支援するため、「東北大学の食の支援」として、2021年5月より「100円朝食」の提供をスタートしました。

現在も物価高の影響が続いていますが、学生の皆さん元気に修学に励み、健康で充実した学生生活が送れるようにするため、その趣旨にご賛同いただきました団体や企業、卒業生の皆さまからの多くのご支援※¹により、継続した支援を実施しています。また、2025年度は100円朝食、軽食（パン等）のほか、夕食の提供も新たに加わりました。 ※¹ 食材（まとまった数量）等の現物によるご寄附も含まれます。

2025年度実績報告

1 100円朝食

〈2025年前期〉

実施期間 **18日間**

(2025年5月7日～5月30日のうちの平日)

提供食数 **合計11,653食**

〈2025年後期〉

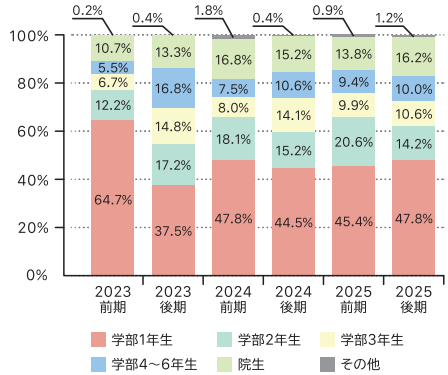
実施期間 **18日間**

(2025年10月14日～11月10日のうちの平日※²)

※²東北大学祭(10/24)を除く

提供食数 **合計9,661食**

本事業は、一般財団法人田中貴金属記念財団からのご寄附をはじめ、東北大学同窓会組織「群馬萩友会」を通じ、本学卒業生が代表を務める株式会社林牧場および群馬ミート株式会社、カルビー株式会社、医療機器商社テスコ株式会社、独立行政法人日本学生支援機構、東北大学生協同組合からのご寄附（現物寄附含む）により実現しています。



New/

2 学生応援ディナー（TANAKAの夜）

毎日遅くまで勉強や部活を頑張っている学生の皆さんへの応援ディナーとして、栄養価の高い食事を低価格で提供し、経済的負担の軽減と健康的な食生活を支援するため、2025年度より開始しました。

〈2025年前期〉

実施期間 **4日間**

(2025年6月26日、27日、7月8日、9日)

提供メニュー **黒毛和牛使用トンパイ焼肉丼**

価格 **300円**

提供食数 **各日限定500食**(合計:2,000食)

〈2025年後期〉

実施期間 **2025年11月11日(火)**

(1日限定)

提供メニュー **山かけマグロ丼**

価格 **300円**

提供食数 **限定600食**



提供された山かけマグロ丼

本事業は、一般財団法人田中貴金属記念財団様からのご寄附により実現しています。

3 学生応援頭脳ドーナッツ（軽食提供）

〈第1弾〉

期間 **2025年6月9日(月)から6月27日(金)までの**
月曜日、水曜日、金曜日の計9日

価格 **50円**(お一人様1個限り)

提供個数 **1日600個限定**

〈第2弾〉

期間 **2025年11月17日(月)から12月8日(月)までの**
月曜日、水曜日、金曜日(祝日除く)の計9日間

価格 **50円**(お一人様1個限り)

提供個数 **1日600個限定**

本事業は、一般財団法人田中貴金属記念財団様からのご寄附により実現しています。

学生からの感謝の声が続々届いています

●100円朝食によって朝の授業を元気に受けられるようになりとても助かっています。ぜひ続けてくださると嬉しいです。
(薬学部1年)

●物価高の中、食費を削ることで健康に良くない食生活になってしまいうこともありました。このような企画で栄養満点で美味しい朝食を100円でいただけることに感謝の念に堪えません。ありがとうございました。(文学研究科修士2年)

●毎年春と秋に行なわれる、100円朝食を楽しみにしています。今日は何にしようか、と考えるだけでワクワクします。いつもありがとうございます。
(農学部3年)

●お金の無い博士課程の学生の味方です。毎学期、100円朝食のある時期はお金も時間も節約することが出来て、朝早くから研究に打ち込めるため一石三鳥です。本当にありがとうございます。
(理学研究科博士1年)



ネーミングライツ事業報告

東北大学では、本学が所有する施設等に別称（愛称等）を付与していただくネーミングライツ（命名権）制度を設け、民間事業者等とのネーミングライツ事業を実施しています。パートナーシップに基づく活動も展開しています。

ネーミングライツ・
パートナー 募集概要

契約期間	3年以上5年以内(5年を上限として再契約可)
応募資格	ネーミングライツ・パートナーとなることを希望する事業者等。
決定方法	ネーミングライツ・パートナー及び愛称等は、東北大学WEBサイトで公募の上、審査し選定。
対象施設	本学内の食堂、講義室、ラウンジなど様々な施設が対象。

2025年度に締結したネーミングライツ・パートナー



DENSO DOCKのサイン前で

No.1 株式会社デンソー

〈施設愛称名〉 **DENSO DOCK**

青葉山東キャンパス センタースクエア中央棟1階にあるカフェスペース「DOCK」の愛称を「DENSO DOCK」に。命名記念式典を2025年4月22日に実施しました。

契約期間 **2025年4月1日～2028年3月31日**



NSSL BOOOK入り口にて

No.2 日鉄ソリューションズ株式会社

〈施設愛称名〉 **NSSL BOOOK**

青葉山東キャンパスにある共用施設Book+café BOOOKの愛称を「NSSL BOOOK(エヌエスソル ブーク)」に決定し、2025年8月21日に命名記念式典を開催しました。

契約期間 **2025年8月1日～2030年7月31日**



NIPPON SANSO LIBRARY工学分館玄関前にて

No.3 日本酸素株式会社

〈施設愛称名〉 **NIPPON SANSO LIBRARY 工学分館**

青葉山東キャンパス附属図書館工学分館（以下、工学分館）の愛称を「NIPPON SANSO LIBRARY 工学分館」に命名。2026年2月12日に命名記念式典を執り行いました。

契約期間 **2026年2月1日～2030年1月31日**



東北大学附属図書館本館のメインフロアにて

No.4 東京エレクトロン宮城株式会社

〈施設愛称名〉 **TOKYO ELECTRON Innovation Hub X**

川内南キャンパス東北大学附属図書館本館のメインフロア及びラウンジの愛称を「TOKYO ELECTRON Innovation Hub X(東京エレクトロニノベーションハブ エックス)」としました。決定し、また、2026年3月13日に命名記念式典を行いました。

契約期間 **2026年3月1日～2029年2月28日**

Interview 寄附者からの声

東北大学では2025年度も数多くの方々より多大なるご寄附を賜り、心温まるメッセージや激励の言葉などもあわせてお寄せいただきました。

Interview No.1

研究成果を社会へ、そして次世代へ ～起業・M&Aを経て、東北大学に寄附する理由～

志賀 卓弥氏（東北大学 産学連携機構 特任教授・東北大学病院 産学連携室 副室長）

東北大学 産学連携機構 特任教授・東北大学病院 産学連携室 副室長として研究成果の社会実装支援に携わる志賀卓弥先生は、麻酔・集中治療領域の医師として臨床経験を積みながら、大学発スタートアップ「株式会社エピグノ」を創業。2025年には東北大学への寄附も行い、臨床・研究・教育・社会連携を支援しています。今回のインタビューでは、起業やM&A、寄附に込めた思いについて伺いました。



「研究を社会に届けたい」という思い

志賀先生は北里大学医学部卒業後、仙台市立病院などの臨床経験を経て、東北大学大学院医学系研究科へ進学し、人工心臓の研究開発に携わりました。大学院では、企業や研究機関との連携で研究成果が社会に届く過程を目の当たりにし、「研究成果を社会実装すること」に強い関心を抱いたといいます。さらに、大学発ベンチャーが人工心臓の実用化に挑戦する様子を見て、研究だけでなくビジネスの視点の重要性も実感。その後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科（MBA）に進学し、大学発ベンチャーの成功要因を研究し、医療現場の課題解決について考えを深めていきました。

医療現場の課題から生まれた「エピグノ」

MBAで学ぶ中で課題意識を持ったのが、医療現場の“非効率”さです。その中でも特に着目したのが手術室運営でした。この課題を改善するため、志賀氏は2016年に手術室マネジメントシステムを開発する大学発スタートアップ「株式会社エピグノシステムズ（現株式会社エピグノ）」を創業。AIによる手術時間予測・手術室最適化から事業を開始し、現在は看護師配置や育成、エンゲージメント向上を支援する医療人材マネジメントシステムへと発展しています。

大学病院勤務と起業の両立

起業当時は東北大学病院で診療にも従事しており、日中はICUや手術室、夜はスタートアップ業務に追われる多忙な日々だったそうです。それでも約10年で全国約200病院に導入されるまでに成長しました。一方で、2025年にはM&Aを決断。その背景には、SaaS市場や資金調達環境の変化がありました。「会社を残すこと」よりも、「プロダクトが社会で使われること」を重視し、大企業の基盤を活用して社会実装を加速させる道を選んだといいます。



「ロールモデルがいることが大切」

現在は東北大学の産学連携担当の特任教授として、研究成果を社会につなぐ支援にも力を注いでいます。研究者には「スタートアップ」という選択肢がもっと身近であってよいと語り、自身がロールモデルとなることで、挑戦する研究者が増えている実感もあるそうです。

「納税先を選べるなら、大学に」

2025年、志賀先生は東北大学へ寄附をしました。「税金として納めるなら、自分が意味を感じる場所に使ってほしい」と語り、用途を限定せず大学へ託しました。寄附後は「愛校心のようなものが、より強くなりましたね。自分も大学を支える側なのだという感覚が生まれました。」と話します。

次の挑戦者へ

最後に、大学発スタートアップに挑戦する研究者へ向け、
「失敗しても大学には戻れる。
大学は何度でも挑戦できる場所」

とエールを送りました。
臨床、研究、起業、寄附を通じて、志賀氏は“知を社会につなぐ循環”を体現し続けています。



（2026年4月インタビュー実施。東北大学病院にて。）



Interview No.2

子孫に美田を残さず

S.S氏（関東地区在住・70歳代）

還暦を過ぎた65歳頃より、相続を含めて、東北大学基金への寄附について検討を開始しました。そのとき、いつも心によみがえった言葉が、「子孫に美田を残さず」という昔からの名言。子孫に財産を残すと遺産に依存してぜいたくな生活をするようになるから、財産を残すべきではないという先人の教えです。

この言葉に強く共感して、相続財産は世間なみにとどめた遺言書を作成。それを超える預金、株式等の証券および金貨等の貴金属を東北大学基金に寄附して東北大学における教育・研究に役立ててもらうことを決断し、寄附を実行しています。

なお、金貨等は取得時よりも値上がりしていて、売却すると譲渡益が発生し所得税、住民税負担が増すため、東北大学基金事務局のアドバイスを参考にして、「評価性資産特定基金」として東北大学基金に寄附することにより、課税を回避する方策についても検討しています。

Interview
No.3

祖父の背中と標本への好奇心

中村 英行くん

※東北大学総合学術博物館基金へのご寄附



旅先の仙台で知った「東北大学」

関東在住の小学生・中村英行（なかむら ひでゆき）くんが東北大学を身近に感じたのは、仙台旅行がきっかけでした。青葉城や松島を巡り、街の空気や景色に触れる中で、「仙台に東北大学がある」ことを知ったといいます。旅の思い出を振り返りながら、「楽しかったので、また行きたいです。」と目を輝かせて話してくれました。

祖父との会話に背中を押されて

旅行の後、家族との会話の中で、東北大学総合学術博物館や寄附の存在を知ったそうです。英行くんが寄附を決めたのは、お祖父様との何気ない会話の中でした。以前、お祖父様が仕事で東北大学を訪れた際に博物館を見学し、寄附の制度を知ったとのこと。帰宅後にその話を聞いた英行くんは「自分も寄附をしたい」と思うようになったと話してくれました。貯めていたお年玉を見て、「これを寄附に使うのもいいかも」と考えたそうです。「おじいちゃんに相談してから、寄附しようと決めました。おじいちゃんは『いいね』と褒めてくれました。」

返礼品の恐竜が広げた関心

英行くんは、博物館のウェブサイトを見て、寄附を決めたそうです。特に心惹かれたのは、返礼品の恐竜が描かれたタンブラー。「恐竜のデザインが良かったです。見た目も、裏のロゴも気に入っています。」届いたタンブラーは、さっそく日常の中で使ってくれているそうです。氷を入れて炭酸を飲むなど、身近なところで博物館とのつながりを感じている様子が印象的でした。

恐竜から鳥へ、そして骨格標本へ

幼い頃からスピノサウルスという恐竜が好きだった英行くん、いまでは鳥にも強い関心を持っています。カワセミの鮮やかな青に惹かれたことが、鳥の世界に興味を持つ入口になりました。さらに、「鳥は恐竜の子孫である」と知ったことで、興味はやがて骨格や標本そのものをじっくり見たい気持ちが強くなっていったといいます。

「生き物の骨格が好きなんです。化石を見て好きになって、じゃあ鳥の骨格はどうなっているのかなって思って。」

「もっと展示が増えたらいいな」という願い

寄附がどのように役立つと嬉しいかと尋ねると、英行くんは展示が充実していく未来を思い描きながら言葉にしました。「発掘のためとか、骨とか道具を買ったりとかして、もっと展示が増えたらいいなと思います。」インタビューに同席していた東北大学総合学術博物館の高嶋礼詩館長は、「骨を壊さずに内部構造がわかる3Dスキャニングが、ちょうど壊れていて…。ご寄附は、そういった骨格標本を研究する機械の修理や導入にも活用させていただけたらと思っています。ありがとうございます。」と、英行くんに感謝の気持ちを伝えました。

（2025年7月22日インタビュー）

東北大学への 寄附応援メッセージの ご紹介

Message

東北大学を支援（一般基金）

「研究第一」と「門戸開放」の理念を大切に、
魅力ある学び舎として、
益々の発展を祈っています。

匿名希望

DEI推進基金

互いの違いを尊重しつつ、
誰もが自分らしく学び活躍できる環境の整備に向け、
ささやかながら応援しております！

白川 由利枝

博士課程支援基金

日本および世界の将来を担う研究者が、
金銭的理由で研究を断念することが無いよう
僅ではありますが寄附させていただきます。
皆様の研究成果が実ることを願っています。

匿名希望

東北大学に一任する

学生の皆さんがよく学べる環境が、
また、教職員の皆様が教育と研究に専念できる環境が
より理想に近い形で実現されることを
願ってやみません。

匿名希望

FUKUSHIMA サイエンスパーク基金

私も福島県で高等教育に携わっています。
東日本大震災、福島第一原発放射能汚染事故からの
復興はエンドレス。「時間切れ」があってはなりません。
まずは「元」に戻し（実はこれが最も困難）
そして「新たなものを積み上げる」取り組みに
期待と敬意を表します。

伊藤 裕顕

「ANEMONE データベース」 支援基金

生物分布を蓄積、分析することで、
地球の未来の予測に気づけるかもしれない。
それが環境保全につながる事を期待しています。

匿名希望

食による学修環境の支援

教養部学生のころ、貧食のカレーが好きだったな。
ほかの学部の人たちとも仲良くなって、楽しかった。
学生の皆さんに、おいしい学食を
食べてもらいたくて寄附しますね。

藤原 久子

薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金

次世代の創薬研究と専門的薬剤師の育成に
貢献できれば幸いです。
薬学の発展と人類の健康のため、応援しております。

縫田 優人

教育学部・教育学研究科 みらいの教育研究支援基金

学ぶこと、そして、それをとりまくさまざまな人や
物事の研究は、今日ますます重要だと思います。
さらなる研鑽を期待します。

匿名希望

ともプロ!2025 No.01 月面でキノコを育てたい! 菌類の力で宇宙と地球の未来を拓く

廃棄物処理の分野はNIMBY(Not In My Backyard)と
忌避されがちですが、
静脈産業として必要不可欠な産業です。
宇宙でこの技術が実現できれば、地球でも
より資源循環への理解が進むと期待しています。
応援しています。

匿名希望

東北大学病院 みんなのみらい基金

医師、看護師の皆様の親切丁寧な対応に
いつもありがたく思っています。
大変ご多忙と思いますが、宮城、東北の医療の要として
頑張ってくださいと
期待しております。

匿名希望

理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金

東北大学では仲間とともに多くのことを学びました。
とても充実した学生生活を送ることができました。
いくつもの理由がありますが、その一つに大学が素晴らしい設備や
学生支援をしてくれたおかげだと感じています。
今回の寄附金がさらに躍進する大学に向けての
一助になれば幸いです。

匿名希望

工学部自主ゼミナール 支援募金

T-SEMIの後輩たちが頑張って成果を上げてくれていて、
自分事のようにすごうれしく思います。
これからも頑張ってください!

長洲 航平

東北大学 学生会漕艇部支援募金

東北大学漕艇部の活躍は立派です。
ことに全日本大学想定選手権のエイトクルーが
私立大学クルーに混じって、国立大学クルーとして唯一決勝進出を
果たしていることに敬意を表しており、
これからも応援して行きたいと考えております。

遠藤 政夫

ともプロ!2025 No.04 障がい児のケアを補助するAIで 子どもたちと福祉に関わる人を幸せに!

障害ある子供たちと関わる皆が
より楽しめるようになったら嬉しい!
毎回、「なんで、そんなに楽しく遊べるんですか?」と
よく聞かれるけど、
それほど障害ある人が身近にいない世の中だからこそ、
このプロジェクトが実現出来ますように!

匿名希望

学生会男子ラクロス部 支援募金

学生時代にお世話になった大学と男子ラクロス部に
少しでも恩返しとサポートができるように
少額ながら寄附させていただきます。

渡辺 祥太

東北大学 Windnauts支援募金

ホームカミングデーに参加したときに、
実際の機体を見せていただきました。
番組も見たいので、少しでも応援したいと思って寄附します!
結果はもちろん意識すると思いますが、みんなで力を合わせて
取り組んでいる姿にパワーをもらいました!

匿名希望

津波バルーンプロジェクト 活動支援募金

津波などの避けようのない災害の時に、
一人でも多くの人を安全なところへ導くことができる
プロジェクトを応援させていただきます。

小久保 浩之

ともプロ!2025 No.05 誰もが"信頼できる医師"に出会い、 最適な医療を受けられる社会へ!

応援しています。
医療サービスは制度や法律、ニーズ多様など、
構築運営に困難なことがたくさんあると思いますが、
工夫と新たな発想でそれらをクリアし、
社会実装を目指してください。

平川 大